

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題

注 答えは解答用紙に書きなさい。

十 次の文章を、最初と最後の文の間に正しく入るように並べ替えなさい。

（最初の文）こんな夢を見た。

ア 女は長い髪を枕に敷いて、輪郭の柔らかな瓜実顔つりぼねがをその中に横たえている。

イ しかし女は静かな声で、もう死にますとはつきり言った。

ウ 腕組をして枕元にすわっていると、あお向きに寝た女が、静かな声でもう死にますと言っ。

エ とうてい死にそうには見えない。

オ 真白な頬の底に温かい血の色がほどよく差して、唇の色はむろん赤い。

（最後の文）自分も確かにこれは死ぬなと思った。

（夏目漱石『夢十夜』より）

チェックテスト補充問題〔文の整序(1)〕

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題用 解答用紙

年 組 番 ())

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題用 解答例

年 組 番 ())

ウ ア オ エ イ

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題

注 答えは解答用紙に書きなさい。

十 次の文章を、最初の一文に続くように並べ替えなさい。

（最初の一文）科学が文学の世界に接触するとき必然にあまりおもしろからぬ意味でのいわゆるジャーナリズムとの交渉が起こる。

- ア 浅薄、軽率、不正確、無責任というようなものがおのずから付きまといやすい。
- イ ジャーナリズムとはその語の示すとおり、その日その日の目的のために原稿を書いて、その時々新聞雑誌の記事を作ることである。
- ウ それ自身に別段悪い意味はないはずであるが、この定義の中にはすでにいろいろな危険を包んでいる。
- エ それからまた読者の一時的の興味のために、すべての永久的なものが犠牲にされやすい。

（寺田寅彦『科学と文学』より）

チェックテスト補充問題【文の整序（2）】

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題用 解答用紙

年 組 番 ())

日本語表現基礎力チェックテスト

補充問題用 解答例

年 組 番 ())

イ ウ ア エ